子どもたちに身に付けさせたい力 文責 寺脇秀司

き気づく→ か考える→ う動く

表現・他者理解・協働

訓

なせばなる なさねばならぬ なにごとも ならぬは 人の なさぬなりけり **夢・実現 ~楽しい3つの力の育成を通して~ 3つのカ [つながるカ] [わかるカ] [えがくカ]** あ挨拶 いー生懸命 う動く え笑顔 お思いやり

教育目標愛言葉

本校では子どもたちの表現力向上を目指し、俳句や短歌を創作しています。 うぐいすの おぼつかなくも はつ音かな (春のおとずれ:正岡

始業式

4月6日(月)新型コロナウイルスの感染拡 大防止のための休校期間と春休みを終え、学 校が再開しました。

まず、着任式が行われ、 7名の着仟職員のあいさつ がありました。その後、し ま留学、家族留学、転入生 9名の紹介があり、参加者



4名の自己紹介が行われました。

始業式では、今年度のめざす学校像「楽し い学校」「考える学校」にしようと子どもた ちに呼びかけました。

今回の休校で、子どもたちは友だちの大切 さ、学校の楽しさを実感したこと。

1日中、家にいる中で、自分で考えて行動 する場面がたくさんあり、これから生きてい く未来の社会でも「自分で考えて行動する力」 が求められるからです。

(楽しい学校のポイント)

- ①みんなのがんばりをほめる。(認める)
- ②違いを「その人らしさ」と応援する。
- ③安心して、考えを発表できる雰囲気を作る。

(考える学校のポイント)

- ①自分のこととして楽しくなる方法を考える ②やっていいことと悪いことを考える。
- ③相手がよろこぶことを考える。

最後に今 年度、子ど もたちに身 につけてほ しい力を確 認しまた。



入学式



【小学校新入生】

犬塚 秋羽(いぬづか) しゅう) さん こはる) さん 浜村 心陽(はまむら 古木 和哉(ふるき かずや) さん 森田 莉玖(もりた りく) さん 吉田彩和乃(よしだ さわの) さん



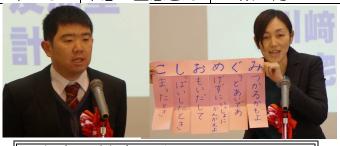
【中学校新入生】

柚葉(くずしま ゆずは)さん 葛島 黒岩 芽依(くろいわ めい) さん 小西 拓翔(こにし たくと)さん 谷内 想汰(たにうち そうた)さん 中惠 璃音(なかえ りのん)さん 原塚 心菜(はらづか ここな)さん



新しい仲間紹介

職	名	氏		名	前		任	校	
教	諭	長属	<u> </u>	少也佳	松洞	市	5 <u>立</u>	志亿	上小
特支克	支援員	三宅		計子	本植	交弟	養	教証	
教	諭	池刻	Ì ∄		島原	ħŖ	5 <u>寸</u>	第三	ΞΦ
教	諭	守屋	屋	幹子	佐た	₹	J立·	佐ん	マ中
教	諭	吉田	日も	放子	長崎	市市	<u>5立</u>	西泊	(中
養護教諭		越尾めぐみ			西海	西海市立西海東小			
学校栄養職員		川﨑友加里			長崎市立愛宕小				
しま	を留学								
中	1	小西	拓笋	羽さん	Ì	₹	外		
ф	2	城田	佳』	ひん ひんり こうしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	È	<u></u>	外		
中	2	栃木ミ	ノヨ・	ーンさん	È	<u></u>	外		
ф	3	深堀	友美	羽さん	Ì	₹	内		
家於	美留学								
中	2	門脇	光剂	行さん	Ì	₹	内		
中	3	門脇	優	さん	Ì	₹	内		
転	入								
川	1	吉田彩	が和り	3さん	È	Į.	内		
中	1	中惠	璃音	音さん	Ì	Į.	内		
中	3	中惠	空原	烈さん	Ē	Į.	内		



東京・神奈川からの しま留学生徒の対応について

東京・神奈川からのしま留学生は4月4・5日に全員が来島しました。自宅での予防対策も万全で、本人たちの健康状態に全く問題はありませんでしたが、しま留学協議会において、万全を期して学校生活をスタートした方がいいのではないかということになり、2週間しま親さん宅で待機し、4月20日(月)から登校することになりました。

奈留島に夢と希望を持ってやってきた留学生を島全体で温かく迎えていただければありがたいです。よろしくお願いいたします。

新入生来室

小学1年生が、 校長室に遊びに来 てくれました。

入室のあいさつ はとても上手でし た。



レインボースペース



昨年度まで、あまり活用されてなかった中庭にイス、テーブル、ハンモック、ブランコ等を置いて、子どもたちの交流スペースを整備しました。子どもたちがリラックスする場所になればと思います。新学期が始まって、多くの子どもたちが遊びに来ています。

小中学生の交流も見られました。



校長の随想(ずいそう)

校長の寺脇秀司です。今年度2年目になります。昨年度は素直な子どもたち、協力的な保護者の方々、温かい地域の方々、情熱的な職員に恵まれ充実した1年間を過ごすことができました。

今年度も子どもたちの「夢・実現」を目標に「島の宝」である子どもたちの生まれ持った力を「伸ばす」指導を、全職員が深い教育愛を持って行います。特に、子どもたちの「夢・実現」に必要な**学力、あいさつ**、自分で気づき・考え・動く**主体性**の育成に力を入れて指導します。

また、今年度は、多くのみなさんのご協力のおかげでたくさんの新しい仲間を迎え、スタートすることができました。奈留の子どもたちにとっても、転入生にとっても自分を磨く出会いにしてほしいと願っています。